

ペットと一緒に快適に暮らせるまちづくり

近年ペットブームなどにより、ペットと共に生活をするひとが増えている。まちを歩いていてもペットと散歩しているひとをよく見かける。しかし、私たちが住むまちは、本当にペットと共に快適に暮らせるまちなのだろうか。

私自身、ペットを飼うまで気付きもしなかったことが多くある。一人で歩いている時は何ら問題のなかった道であっても、ペットと共に歩いていると同じ道で、車に轢かれそうになったり、自転車に邪魔だとベルを鳴らされたり…という問題である。

またペットと一緒に入れる建物がまちにはとても少ないということである。例えば、デパートやショッピングセンターなどであり、たとえ入れたとしても、常にペットを抱えていなければならない状況である。

確かに相手は動物で、ひとが多い場所だから危険回避のため…他のお客さんの迷惑にならないようにするためといった気遣いから、店側は最善の努力・ルールを事前に決めているのであろうが、有意義な時間を楽しめる場がまちであると考え、このような状況下では、ペットを飼っているひとはまちでゆっくり買い物や、ウィンドウショッピングを楽しむことも出来ず、困っているひとが多いのではないだろうか。

また、ペットと一緒に遊べる施設がもっとあったらいいのにという声をよく聞く。家にペットがいる家庭というのは、家を空けることが出来ない。しかしペットを連れて行ける施設が増えるとどうだろうか。もっとまちに出ようとするひとは増えるのではないだろうか。こうして積極的にひとが行動出来るまちこそが理想のまちなのではないだろうかと考える。

このように、私たちの住むまちは、とてもペットと共に快適な生活が出来る環境とは言えず、ペットもひと楽しく快適に暮らせるまちが求められているのではないだろうかと考える。

そこでペットと共に生活するものの立場から、ペットと暮らせるまちづくりについていくつか提案したいと思う。

提案1：安全に散歩が出来る道

- ・ 中心市街地内の道路については、車道と歩道の分離を確立し、歩行者が安全に楽しく歩ける場所を確保する。また、歩行者と自転車道のスペースを確立する。
- ・ 中心市街地内の歩道に無秩序に停められている自転車を整理、回収する人を数人配置し、放置自転車による歩道の占有を防止する。
- ・ 無秩序な自転車の放置は、そこに自転車を放置すれば、目的が容易に達成できることより、発生している問題であると考えられるため、そのような場所の近くに自転車置き場を設置する。
- ・ 中心市街地内の道路については、凹凸のない道路に整備しなおし、バリアフリーを進める。また、植林やベンチなどの設置を行い、まちにゆとりある空間演出を行う。

提案2：ペットと共に楽しめる施設

- ・ 中心市街地の特定の公園内に動物が安全に走り回れる場所を整備する。
- ・ ペットと一緒に入れるショップの設立（レストラン・ドッグカフェなど…。）

提案3：空家空き店舗の再利用

- ・ 中心市街地では空家空き店舗が大きな問題となっており、行政や企業の支援、協力を得て、ギャラリーやシアターなどとして一部活用されているものの、十分に利用されている現状ではない。よって、空家空き店舗の活用のあり方を見直し、新たな活用法のひとつとして、ペットを連れてきたひとがゆっくりとまちですごせるサポート施設として、ペットの託児所を設置する。

これら3つの提案は短期間で実現可能な内容であり、既存施設などを活用することにより、それほど費用をかけずに対応できる内容であると考えます。

また、これらの提案について少し深く考えると、ペットを同伴するひとに優しいまちであるということは、老人や障害者の方々にとっても、優しいまちであるといえると考えます。しかし、今現在老人や障害者の方々への対応も不十分であるため、これから少子・高齢化時代を迎えるためにも、これらの提案が実行され、福祉・厚生施設面での充実をすすめる必要があると考えます。